



「アキシマの縄文時代」にて展示中の土器（9月8日撮影）

鯨

いさな

第11号

昭島市郷土資料室
〒196-0012
昭島市つつじが丘
3丁目3番15号
アキシマエンスィス
国際交流教養文化棟1階
TEL:042-543-1523
FAX:042-542-8002
(昭島市民図書館共通)

びじゅつひん 1万6千年前の美術品！？

じょうもんとき
「縄文土器」をみてみよう！



ホームページはこちら



ツイッターはこちら



昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンスィスのホームページ (https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html) または アキシマエンスィス公式ツイッター (@akishima_ensis) で見ることが出来ます。

わたしたち人間は、長い歴史の中で、様々なものを発明してきました。車輪や船、火薬など、わたしたちは発明した道具や技術で生活を発展させ、くらしを進歩させてきました。

いまからおよそ一万六千年前、まだ木や石で作った道具を使っていた時代に、「土器」が発明されました。土器とは粘土で形を作り、火で焼き固めて作る器(いれもの)のことです。木や石から作った道具とちがって自由に作りたい形を作ることができ、水をためるための大きなものや、土偶とよばれる人形のようなもの、食べ物を煮るための鍋のようなものや炒めるためのフライパンのようなものが作られていました。

このころ作られていた土器には、縄をおしつけて付けたような「縄文」という文様があるので、この時代を「縄文時代」といいます。

郷土資料室では、十月二十九日(日)まで、市内の遺跡で発見された縄文土器などを展示する「アキシマの縄文時代」を開催しています。

縄文時代の昭島に住んでいた人たちが作った土器や道具から、かれらがどのような生活をしていたのか、どうして様々な種類の縄文やもようを土器につけたのか、想像してみましよう。

令和五年度 十月～十二月のおもな展示・イベント予定

企画展示 「アキシマの縄文時代」

展示期間：七月二十五日（火）～十月二十九日（日）
展示内容：昭島市内で出土した縄文土器を中心に、昭島市内の縄文時代を物語る資料を展示します

ミニ企画 「化石薄片展」

展示期間：十月三十一日（火）～令和六年一月二十八日（日）
展示内容：化石や岩石がどのようにできているのかを見ることが出来る「薄片」を展示します

イベント 「文化財講演会 アキシマの縄文時代」

開催日時：十月九日（月）午後一時～午後二時
内容：昭島市文化財保護審議会 会長の和田哲氏による、縄文時代の昭島地域を題材にした講演会です。

対象：大人 / 定員：百名（先着順）
参加費：無料 / 申込：不要（会場に直接お越しください）
会場：アキシマエンス国際交流教養文化棟二階 講習・研修室

★ イベント 「文化財めぐり 旧郷地村・旧福島村コース」

開催日時：十月二十一日（土）午前十時～正午
内容：旧郷地・福島村の文化財を見学する町歩きイベントです
対象：大人 / 定員：二十名（申込順）
参加費：三百円 / 申込：電話・窓口

★ イベント 「文化財めぐり 旧拝島村コース」

開催日時：十一月十一日（土）午前十時～正午
内容：旧拝島村地域の文化財を見学する町歩きイベントです
対象：大人 / 定員：二十名（申込順）
参加費：三百円 / 申込：電話・窓口

★ マークのイベントは、参加に事前申し込みが必要です。
イベントの詳細は郷土資料室のスタッフにお問い合わせいただくか、郷土資料室ホームページまたは館内の掲示をご確認ください。

利用案内

○ 開室時間

昭島市郷土資料室 火曜日～金曜日 午前十時～午後八時
土・日・祝日 午前十時～午後六時

郷土資料展示室 午前十時～午後五時
（見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください）

○ 休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間

○ 交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩十分

立川バス（昭22、昭23、昭23-2、昭24、昭26、拝13）
「昭島市民会館」下車徒歩五分

Aバス（北ルート） 「アキシマエンス」下車すぐ



○ 休室日のお問い合わせ先

休室日のお問い合わせは、

昭島市教育委員会 生涯学習部
アキシマエンス管理課 文化財係

TEL:042-519-5717
FAX:042-519-7456

までご連絡ください。